

## 生き生きとした色味の唇をつくる唇の血管が加齢とともに減少 ソウハクヒエキスに唇の血管の再生を促す効果

ポーラ・オルビスグループのポーラ化成工業株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長：釘丸和也）は、

- ① 加齢にともない唇の真皮の血管が減ってしまうこと
- ② 「ソウハクヒエキス」が血管を形成する血管内皮細胞に働きかけ血管の再生を促すこと

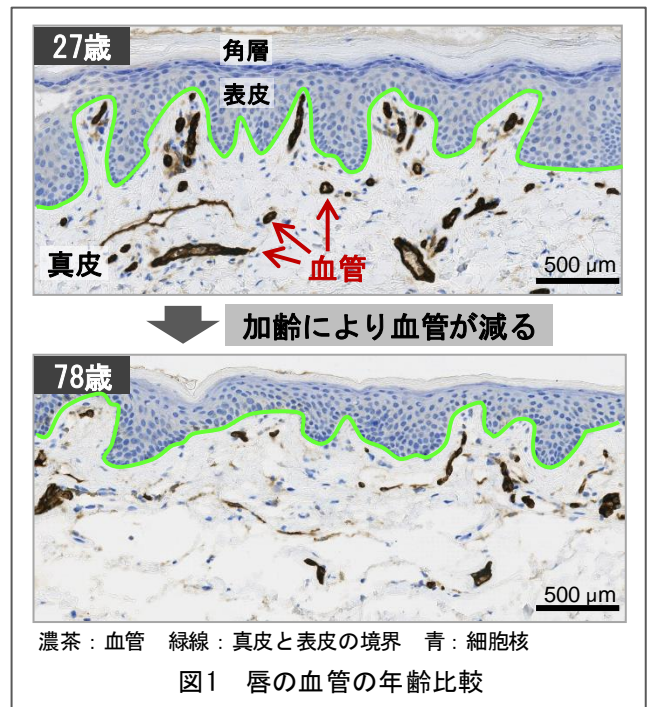
を発見しました。ソウハクヒエキスを配合した唇用の化粧料を使用することにより、より生き生きとした唇を実現できると期待されます。

本成果は、今秋に発売されるポーラの商品をはじめ、ポーラ・オルビスグループの商品に活用される予定です。

### 年をとると唇の血管が減ってしまう

唇の色味や状態はその人の顔の印象を左右します。唇の色味や状態は、組織のすみずみまで酸素や栄養を行き渡らせる血管に大きく影響されると考えられます。しかし、これまでの研究では組織内部の加齢変化についてはほとんど知られていませんでした。そこで今回、20～70代の唇の組織断面で真皮中の血管の面積を解析したところ、年齢とともに血管が減少してしまうことを見出しました（図1）。

このことから、年齢を重ねた唇では、血管が少なくなるために唇の赤味が損なわれてしまったり、酸素や栄養の供給が低下し組織の維持・修復が滞ってしまったりすると考えられます。



### 血管を形成させるソウハクヒエキス

血管が形成される時、血管内皮細胞が立体的につながって管（くだ）状になります。したがって、より長くしっかりとした血管を作るには、細胞同士がつながり合う能力を高める必要があります。そこで、培養した血管内皮細胞を使い、細胞同士のつながりを促進するエキスを探索したところ、ソウハクヒ（学名 *Morus alba* の根の皮）から抽出したエキスにその作用が見出されました（図2）。本エキスにより血管の再生が促され、唇の血色が良くなるとともに、栄養供給が高まり真皮の状態が整うと期待されます。

